

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年 9月15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1670103496
法人名	(有) 緑の丘
事業所名	グループホーム みどりの丘
所在地	富山市開発2 4 6 番地
自己評価作成日	平成27年 8月 6日
評価結果市町村受理日	平成27年10月1日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	北証パトナ株式会社
所在地	富山市荒町2番21号
訪問調査日	平成27年8月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

理念でもある微笑み・優しさ・思いやりの心を忘れずアットホームで温かみのある空間作りに努めています

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者と職員を、介護される側と介護する側に分けるのではなく、共に過ごす中で、喜怒哀楽を分かち合うような関係づくりに努めている。職員は微笑みを絶やさないように心がけ、利用者一人ひとりの思いに寄り添いながら、調理などの役割ごとや保育園児との交流などの楽しみごとを取り入れ、張り合いを持って暮らせるように支援している。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

グループホーム みどりの丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	目に見える所に理念を掲げている。日常の中で生じる課題については職員同士で話し合うよう努めている	時計を見るついでに、理念が目に入るなど、理念の掲示場所を工夫している。また、日々のケアの場面ごとに職員同士で理念を確認して、理念の共有と実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	保育園児の訪問は年に3～4回あり、その他幼稚園や小学校での行事に出かけている。地域の展覧会への作品出展や行事は今後も積極的に参加していきたい	自治会の回覧板を利用者と一緒に届けた縁で野菜の差し入れを受けたり、保育園や幼稚園、小学校と交流し、一緒に歌を口ずさむなど、地域に溶け込みながら、利用者が楽しく暮らせるように支援している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	小学校総合の授業の一環で認知症の理解として授業を行い訪問を受け入れることなどを行っている。今後も認知症について理解していただけるよう努めていきたい		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に行い現状を伝えたりしている。外部の方にも意見を求めるようにしてサービスの向上に努めている	地域包括支援センター職員や介護相談員などの参加のもと、他所の事例やケア方法などの提案を受け、サービス向上に活かすように努めている。	今後は、運営推進会議に自治会代表などにも参加してもらうことが期待される。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	設立当初より介護相談員を受け入れている。ホームでの様子を必ず伝えるようにし、相談員さんからはご自身の介護体験を話してくれたりしている	代表者は、介護保険制度の変更点や具体的な事案について市の担当者と連絡を取り合い、協力関係を築くよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成し、身体拘束をしないケアの実践に努めている。玄関の施錠は夜間の防犯のため以外は基本的にはしていない	マニュアルを作成し、職員が共通理解できるように努めている。身体拘束と安全の確保について、利用者の状態の変化に合わせて話し合い、身体拘束のない支援の実践に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	報道などを通して職員同士で話し合いを設けている。全身状態を確認できる入浴時には職員一人ひとり気にかけるようにしている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用している方がいる。ご家族から相談があった場合には渡せるパンフレットは設置してあるがスタッフの理解が不足しているところもあるため今後も勉強していきたい		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	不安や疑問点については利用者・ご家族の方共に納得できるまで話し合いを持つようにしている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱を設置している。利用者は職員に直接言いにくい方もいるため日々の表情の変化や言動に注意するようにしている。ご家族の面会時には様子を伝え、要望を聞くようにしている。利用者の前だと話しにくい場合には場所やタイミングを考える	家族からは、面会時などに改まって意見を聞いたり、さりげなく声をかけ、要望などを聞き取るように努めている。利用者には、一方的に介護される側に置かず、一緒に相談しながら決めるというような雰囲気づくりに心がけている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送りやカンファレンスでの提案や意見はその都度聞き改善できるよう努めている。個別で聞くようにも心がける	代表者や管理者が一方的に決めるのではなく、職員の提案や意見を大切に事業所運営に努めている。また、職員個々の悩みなどをよく聞くように努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の状態や思いの把握に努め、職員同士向上心を持って働くことができるよう職場環境作りに努めていきたい		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の案内は掲示し、参加を募るようにしている。ホーム内での勉強会が主ではあるが自身のスキルアップの為外部研修に参加するスタッフもいる		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	いろいろな研修を通して他施設の情報交換しサービスの向上に努めている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時にはゆっくり話をする時間を持ち、利用者の不安が軽減される、安心した生活を送ることができるよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学・面談・相談に柔軟に対応し、入居を検討している。初期の段階から安心していただけるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者・ご家族の思い、実状を聞き当施設だけに限らず必要なサービス支援をパンフレット等を用いて説明し、見極めるようにしている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	身だしなみ（整髪や髭剃り）は自分でしていただく、家事を手伝っていただくなどで役割を持ち楽しみのある生活になるよう努めている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の際には本人と共にお茶を飲みゆっくり話ができるよう努めている。面会時には往診時の結果や近況など伝えるようにしている。遠方の方には電話にて対応している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている	ご家族のご協力によりかかりつけ医への受診や美容院など継続を希望される場合は継続利用していただいている	馴染みの美容院で、カットしてもらいながら美容師や顔見知りのお客さんとおしゃべりしたり、お墓参りに出かけるなど、家族の協力を得ながら、馴染みの人や場との関係継続の支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者一人ひとりの性格や利用者同士の関係から食卓テーブルやソファの場所をさりげなく声をかけている。利用者同士の会話のきっかけになる言葉や物を一つ提案することで笑いのある会話が広がる事がある		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても様子をご家族から伺ったり、直後に訪問させていただいている。その際にご家族から相談があれば対応している		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	言葉から得られる情報だけでなく日々の動きや表情・小声のつぶやき等をもらさず観察するようにし、把握に努めている。その意向は職員同士で話し合い、改善に努めている	その時々仕草や行動、たとえば、笑い方や歩き方などに留意したり、また、色々な状況の中での会話の内容や声のトーンにも気をつけ、本人の思いを把握するように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時ご家族の方にセンター方式の記入をしていただきその方の生活歴や馴染みの暮らしを共有するようにしている。また、会話の中から聞き取りをしたり、必要あればご家族の方に入居前の様子を聞くようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日ケース記録を記入し、過ごし方・水分量・身体の異常は赤で分かりやすいようにし職員全員で情報を共有するようにし情報の把握に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者・ご家族の意向を基にホームでの生活状態を把握し、介護計画にしている。課題があった場合はミニカンファレンスを開催し検討・実施ができるようにしている	食事の準備など、やりたい事や出来る事が続けられるよう、職員は日々の気づきやアイデアを出し合い、また、家族の要望を取り入れて、利用者一人ひとりの現状に即した介護計画の作成に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の方の喜怒哀楽も合わせて記入し、変化や異常が見られたり感じた場合には職員同士情報を共有している。毎日ケアプラン実施についてチェックし毎月のモニタリングにつなげている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	急変時等の受診の付添いなど柔軟に対応するように努めているが、すべてのニーズに対応することは難しい点もある		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	富山市社会福祉協議会ボランティアセンターのホームページより利用者の興味を誘うようなものを選び、依頼・訪問してもらうようにしている。毎月定期的に訪問していただけるボランティアの方もおり、意見をいただくこともある		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、心療内科のかかりつけ医が毎月往診に来ている。入居前と同じかかりつけ医を希望される方には引き続き利用できるように対応している。希望があった場合には歯科往診も依頼している	かかりつけ医と受診方法（訪問診療か病院での受診など）を、本人と家族に決めてもらい、適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	職員の中に看護師はいないが、必要時には受診や主治医と連絡を取り支持をいただけるようにしている		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	利用者の状態についてはかかりつけ医と連絡を密にとり早急な対応ができるようにしている。入院中は電話やお見舞いに伺った際に病院スタッフの方やご家族と情報交換するように努めている		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	事業所の方針としてターミナルについては対応しない事としている。事業所内でできる事をご家族に説明しご理解いただけるようにしている。重度化については日常生活動作の低下が考えられるため、状態に合わせたケアができるよう勉強会をしていきたい	事業所として看取りには対応していないことを、必要な都度、家族に説明し、心づもりをしてもらおうと共に、今後の方針を話し合っている。利用者の状態に合わせて、食事形態や入浴方法を工夫し、可能な限りの支援に努めている。	事業所として看取りには対応しないこととしているが、今後は、重度化した利用者に対する移乗や入浴などの介助方法を職員全員で学び合い、それぞれの状態に合わせたケアにつなげることが期待される。
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	定期的に救命講習を受講し、急変時の対応について学ぶように今後もしていきたい		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	年2回通報・避難訓練を職員全員が参加し、年1回は消防職員の立会いのもと行っている。その際には地震・水害などについてもアドバイスをもらっている。近所の方にもできる限り参加を働きかけていきたい	消防署員立ち会いの訓練は、夜間想定で実施し、避難完了までに要した時間などのアドバイスを活かすように努めている。地域の人達に参加してもらっての避難訓練は実施していない。	今後は、地域の人達に避難訓練に参加してもらうことが期待される。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者を尊重しその方に応じた言葉を選び声掛けをするようにしている	職員は、利用者から生活の知恵などを教えてもらい、一方的に介護される側に置かないように努めている。また、排泄の失敗などであっても、本人の羞恥心に配慮し、自尊心を損ねない対応に取り組んでいる。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	飲み物やおやつを選べれるようにしたり、レクリエーションも利用者が選ぶことができるように声掛け、自己決定の見守りを行うようにしている			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は利用者それぞれのおおよそのペースを理解しているが、言葉や言動から拒否がある場合には見守りをし本人の思いで自由に過ごしていただくようにしている			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	メイクボランティアの方の訪問や美容院でのカラーパーマなども行うことができるよう支援している。ご家族の方の協力のもと馴染みの美容院へ行かれる方もおられる			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜を見てもらい何を作ったらいいか尋ねてみたり、ゴマすり・大根おろしなど調理の手伝い、盛り付けや茶わん拭きなどを一緒に行っている。毎月お楽しみランチを行い楽しめるようにしている	七夕の日には、卵やオクラを星に見立てて盛り付けるなど、ひと手間かけて、利用者に食べる喜びを感じてもらえるように工夫している。また、準備や片付けなどを利用者と共に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	富山市水飲み運動を推奨しており1300mlを目標にしている。好き嫌いや病状に合わせて飲み物を提供している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声掛けを行いその方に合わせた方法で口腔ケアを行っている。必要時には歯科往診を依頼することもある		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者の排尿・排便間隔を把握し、その方に合った時間にトイレ誘導、トイレ内で排泄ができるように努めている	利用者一人ひとりの自尊心を大切にし、あからさまな誘導や介助をしないように気をつけ、トイレでの排泄が継続できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	その方に合わせた予防に取り組んでいる。排便間隔を把握し、長いようであれば乳製品を取り入れるようにしている。主治医と連携をとりながら適宜整腸剤や下剤を使用することがある		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日と時間は決まっているが順番は利用者の希望や状態に合わせている。拒否がある場合には職員を交代したり、時間を替えたりしている。会話の多い入浴時間になるよう努めている	普段は言えないことでもお風呂ではおしゃべりできるような雰囲気をつくり、ゆったりと入浴を楽しんでもらうように心がけている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者それぞれ思い思いの場所で過ごす事ができるよう配慮している。テレビ体操等で日中の活動量を増やし良い睡眠になるよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	かかりつけの薬剤師からの注意点の説明やお薬情報での確認をしている。共有すべき情報は申し送りをし、変化があれば記録、主治医へ報告している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者本人からはもちろんご家族から生活情報を聞きだし得意なことを引き出すよう努めている。また、笑顔が多くみられるもので気分転換を行うよう心がけている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候に合わせて散歩したり、外気浴ができるようにしている。帰宅願望で外に出たいと訴えがあった場合には無理に止めず一緒に外に出るようにしている	帽子をかぶる様子があれば、一緒に散歩に出かけたり、玄関にベンチを置いて、おやつを楽しむなど、脚力の衰えがある利用者も含めて、戸外で過ごす時間をつくるように努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者は基本的にはお金を持っていないが、持っていることで安心につながる方は利用者・ご家族に了解のもと持つことができるようにしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時にはいつでも対応できるようにしている。年賀状は1人2～3枚程度書かれる方もいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>明るすぎない照明で落ち着いた明かりにしている。季節の作品を一緒に作り、畑などで採れた季節の野菜を見ってもらうなど季節感を取り入れるようにしている</p>	<p>短冊に願いを書いた七夕飾りを皆で飾ったり、犬のぬいぐるみなどを置いて、和やかな雰囲気をつくっている。また、畑で採れたものを調理する匂いが、台所から漂ってくるなど、季節感や生活感を取り入れるように心がけている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>各居室はひとりで過ごせれる。フロアでは思い思いの場所で過ごす事が出来利用者同士会話も楽しんでいる</p>			
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族に馴染みのものを持ってきていただくようお願いしている。家族写真や家族からのメッセージなどを飾っておられる方もいる</p>	<p>居室には、お気に入りの洋服や帽子、好きな囲碁の本を置くなど、使い慣れた物や趣味の品々を活かして、居心地よく暮らせるように工夫している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>バリアフリーになっており、手すりやソファーを利用しながら自力歩行ができるようになっている。各居室・トイレにはわかりやすく名前が書いてある</p>			

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム みどりの丘
作成日 平成27年9月30日

【目標達成計画】

優先順	項目番	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化した場合の支援について	急な機能低下もあるが予測できる穏やかなものもあるため、申し送りやカンファレンスを利用し、職員全員で学びそれぞれの状態に合わせたケアにつなげる	外部の研修への積極的参加。施設内でのカンファレンス内容に安心安全な介助方法の勉強会を取り入れる	12ヶ月
2	35	災害対策について	利用者の心体機能の低下から避難に時間を要することが考えられる。職員だけでは難しいこともあり、訓練の時から地域の方の協力を得られるようにする	訓練時には地域の方にも参加していただけるようお願いし、待機場所での利用者の見守りなどしていただく事ができるよう依頼する	12ヶ月
3	28	統一したケアについて	利用者が安心して生活できるよう職員全員がケアの方向性や方針を共有する。理念にもとづいたケアが統一されたものにする	定期的なカンファレンスの開催。2ヶ月間の目標を決め目に届くところに掲示するなど氏意識の向上に努める	12ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

グループホーム みどりの丘